【Ｒ１８】　ノベル

ＣＦＮＭ
『わがままお嬢様、〇ち〇ちんにお仕置きする』
～登場人物の会話形式版～

作：七条右京

【登場人物】

「〇〇学園」

・西園寺絵里香（さいおんじ　えりか）：女子生徒（お嬢様）

・男子生徒

・女子生徒：由衣、桜子

「」：台詞、

『』：心の声

西園寺絵里香は、〇〇学園の理事長の娘。

甘やかされて育てられた絵里香は、何でも自分の思い通りにならないと気が済まない性格。

学園内では、理事長の娘と言う立場を利用し、やりたい放題。

そんなゆがんだ性格の絵里香だが、その可愛い容姿に男子からはモテモテ。

すっかり女王様状態の絵里香は、男子は全員私のしもべと思っている。

しかし、絵里香の事が嫌いな男子もいる事に、絵里香は気が付いていない。

とある日、絵里香とすれ違った男子、挨拶もせずに通り過ぎた。

『なによ、私（わたくし）の事なんとも思わないの？』

『そんな男子がいるの？』

疑問に思った絵里香は、自分専用の部屋にその男子を呼びつける。

男子、

「オレは、西園寺さんの事、なんとも思ってないよ」

「って言うか、はっきり言ってお前みたいに傲慢な女は、嫌いだな」

その言葉に、絵里香はプライドを傷つけられた。

激怒した絵里香、

「私（わたくし）の事、好きになるのよ」

「好きだと言うまで、責めるわよ」

と言って、その男子の性器を責める。

はたして、その男子は、「好き」と言うか、言わないか？

〇絵里香専用のお部屋

絵里香と、二人の取り巻きの女子、男子、の三人が丸いテーブルを囲んで座っている。

西園寺絵里香：

「君は、私（わたくし）の事を無視して、どう言うつもりなのかしら？」

男子：

「オレ、別に無視なんかしてないよ」

絵里香：

「だって、この間、私（わたくし）とすれ違っても挨拶がなかったわよね」

男子：

「いちいち、挨拶しなきゃならないのかよ」

絵里香：

「なに、その口の利き方は？」

男子：

「なにが絵里香お嬢様だ」

「お前みたいに、そう言う傲慢な女、嫌いなんだよ」

絵里香：

「なんですって！」

「私（わたくし）の事、お前？」

「傲慢な女？」

「嫌い？」

「ですって！」

「そんな男子、君が初めてよ」

「もう頭に来ちゃうわね」

「いいわよ、いいわよ」

「私（わたくし）の事、好きと言わせて見せるわ」

「由衣、桜子」

そう言って、取り巻きの女子の由衣と桜子に目で合図をした。

由衣は、クロロホルムを染み込ませたハンカチを、男子に嗅がせ眠らせた。